



2021年3月期
第2四半期累計期間
(2020年4月1日～2020年9月30日)
決算説明資料

2020年11月6日
ディービーエックス株式会社
証券コード：3079

1. 当第2四半期（累計期間）の決算概況 P3

2. 業績予想 P16

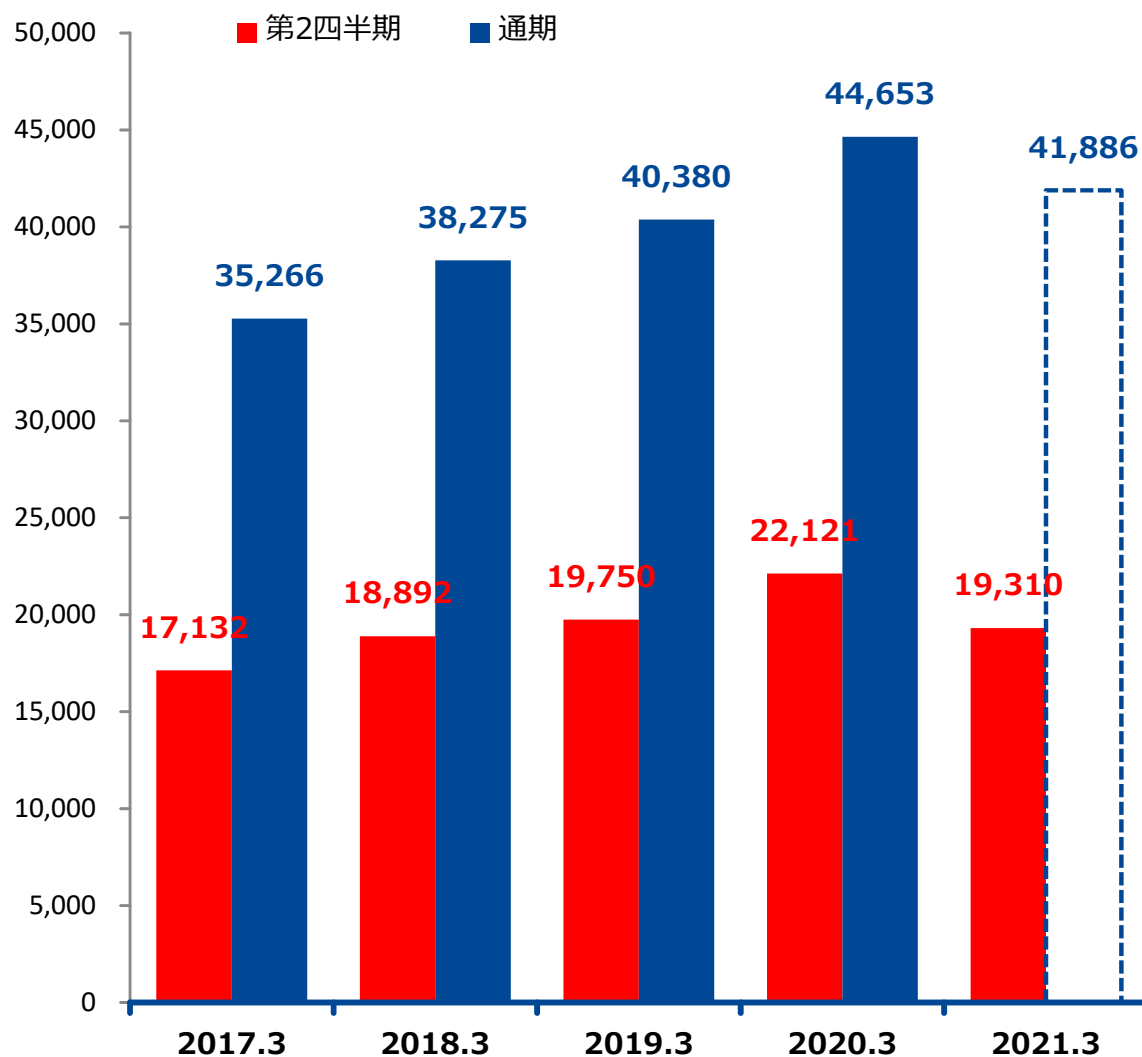
1. 当第2四半期（累計期間）の決算概況

要約損益計算書 (第2四半期累計期間)

	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前年同期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	19,310	100.0	22,121	△12.7
売上総利益	2,245	11.6	2,624	△14.4
販管費	2,000	10.4	2,177	△8.1
営業利益	245	1.3	446	△45.1
経常利益	244	1.3	453	△46.1
四半期純利益	162	0.8	314	△48.1

売上高

(単位：百万円)



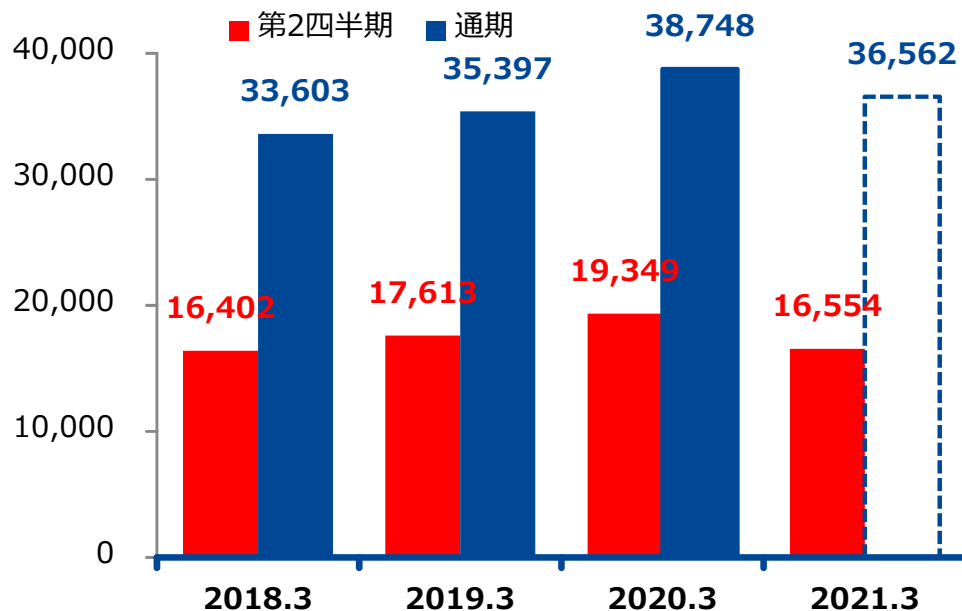
前年同期比**12.7%減**の
193.1億円

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	16,554	△14.4
虚血	1,565	△17.8
その他	1,190	+37.2
合計	19,310	△12.7

事業別売上高

不整脈事業

(単位：百万円)



売上高 **165.5億円**

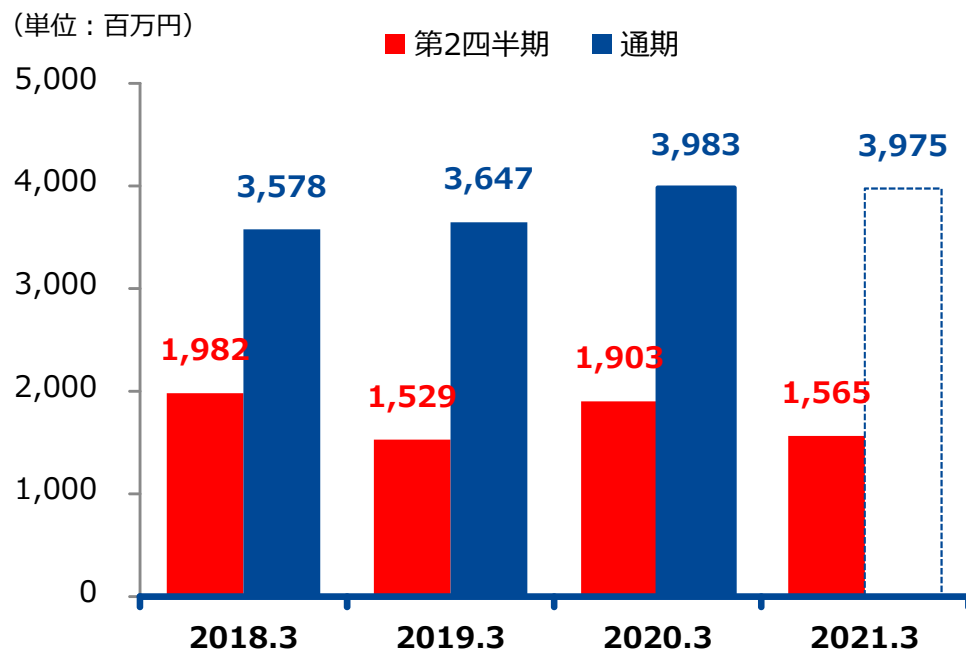
(前年同期比 **14.4%減**)

- ✓ 緊急性が低い治療の延期による症例数減
- ✓ 首都圏、大阪エリアにおいて大きな影響が出たが、症例数の減少は5月がボトムで6月以降改善傾向

	実績 (百万円)	前年同期 実績 (百万円)	増減率 (%)
PM	1,686	1,791	△5.8
ICD	869	1,171	△25.7
CRT-D	914	946	△3.4
電極カテーテル	4,291	5,301	△19.0
心腔内エコーカテ	1,741	2,029	△14.2
ABL機能付	2,744	2,930	△6.3
ABLカテーテル	264	469	△43.6
冷凍ABLカテ	799	1,023	△21.9
その他	3,241	3,687	△12.1
合計	16,554	19,349	△14.4

事業別売上高

虚血事業



売上高**15.6億円**

(前年同期比**17.8%減**)

- ✓ 緊急性が低い治療の延期による症例数減
- ✓ 新規販売活動の自粛による減少

	実績 (百万円)	前年同期 実績 (百万円)	増減率 (%)
SPNC	615	612	0.6
その他	949	1,291	△26.5
合計	1,565	1,903	△17.8

その他

実績
(百万円)

売上高**11.9億円**

(前年同期比**37.2%増**)

外科関連商品	539
--------	-----

外科、脳外科関連商品は、新型コロナウイルスによる症例数減の影響が少なかった。

脳外科関連商品※	464
----------	-----

外科関連商品が好調な理由：

「経カテーテル的大動脈弁置換術
(TAVI)」関連の伸長

その他	185
-----	-----

脳外科関連商品が好調な理由：

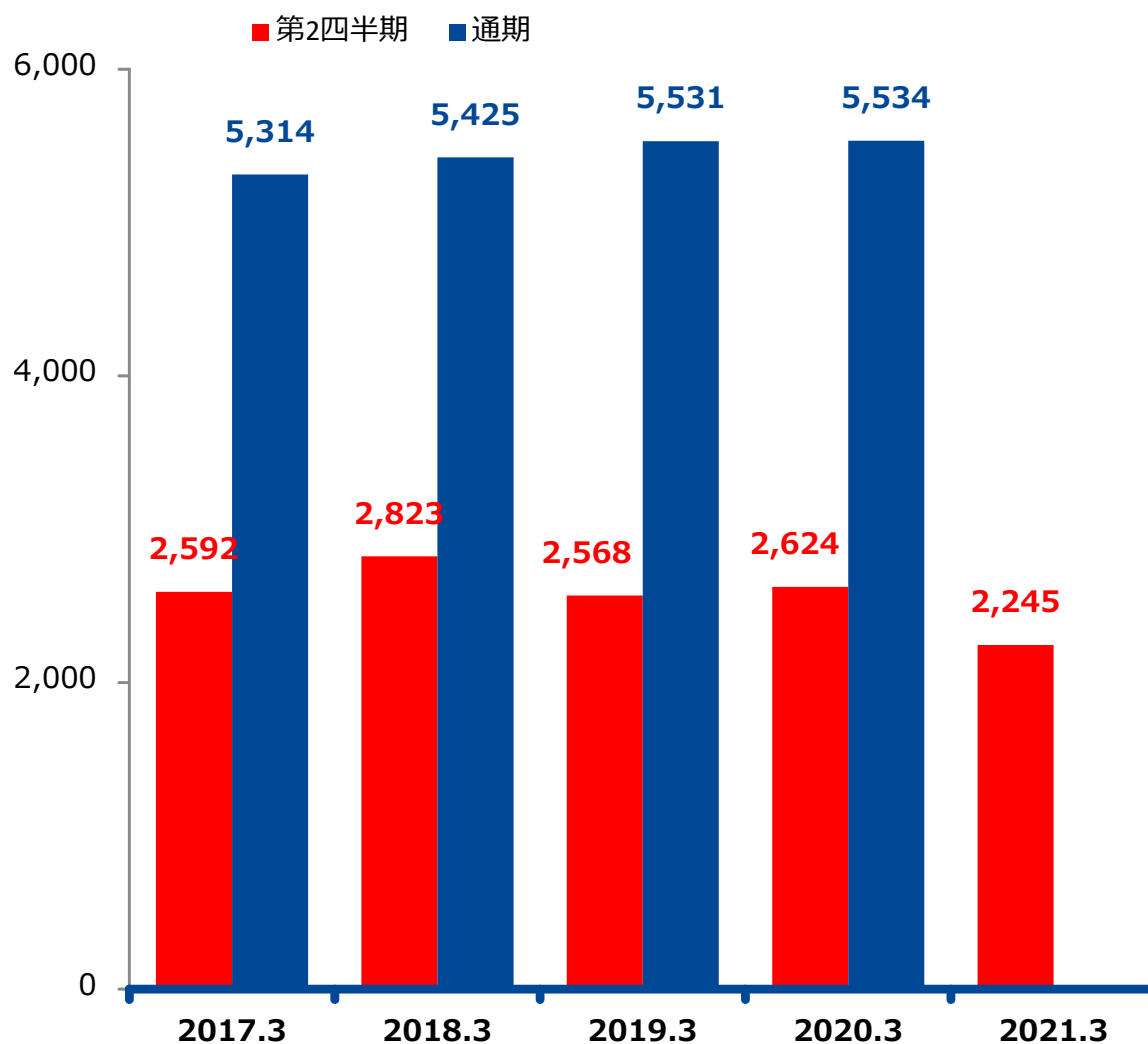
「脳動脈瘤コイル塞栓術」関連の伸長

合計	1,190
----	-------

※腹部領域も含んでおります。

売上総利益

(単位：百万円)



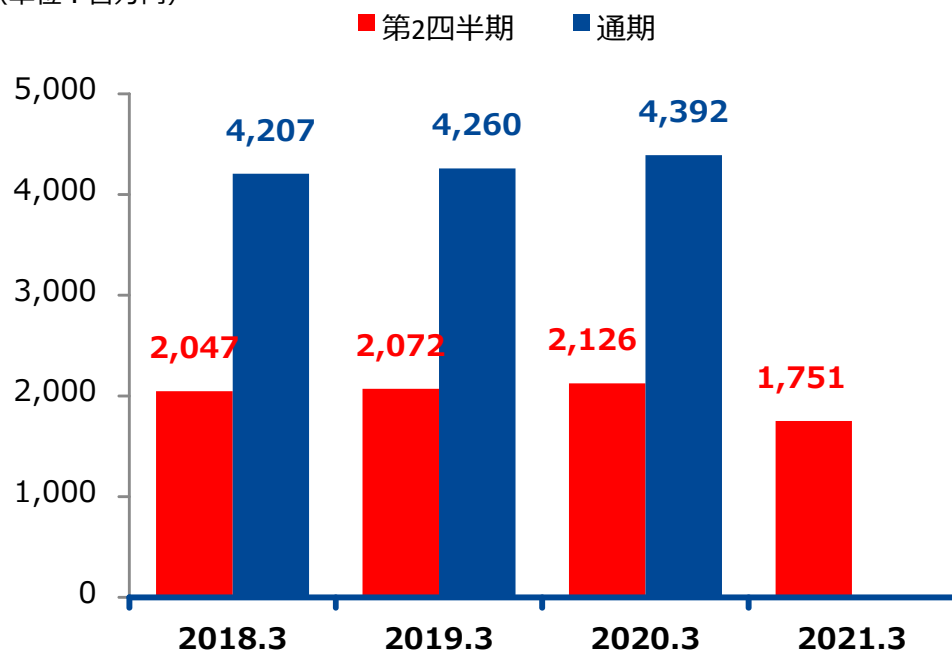
前年同期比**14.4%減**の
22.4億円

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	1,751	△17.6
虚血	340	△7.9
その他	153	+19.7
合計	2,245	△14.4

事業別売上総利益

不整脈事業

(単位：百万円)



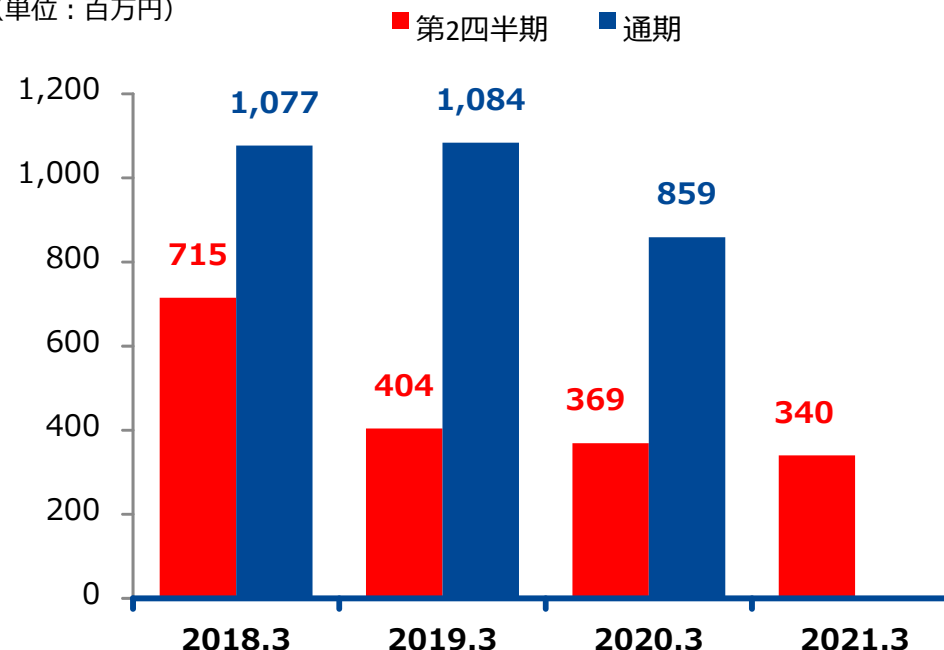
セグメント利益17.5億円

(前年同期比17.6%減)

- ✓ 粗利益率10.6% (前年同期11.0%)
- ✓ 医療機関からの値下げ要請、仕入先からの値上げ要請対応により粗利益率低下

虚血事業

(単位：百万円)



セグメント利益3.4億円

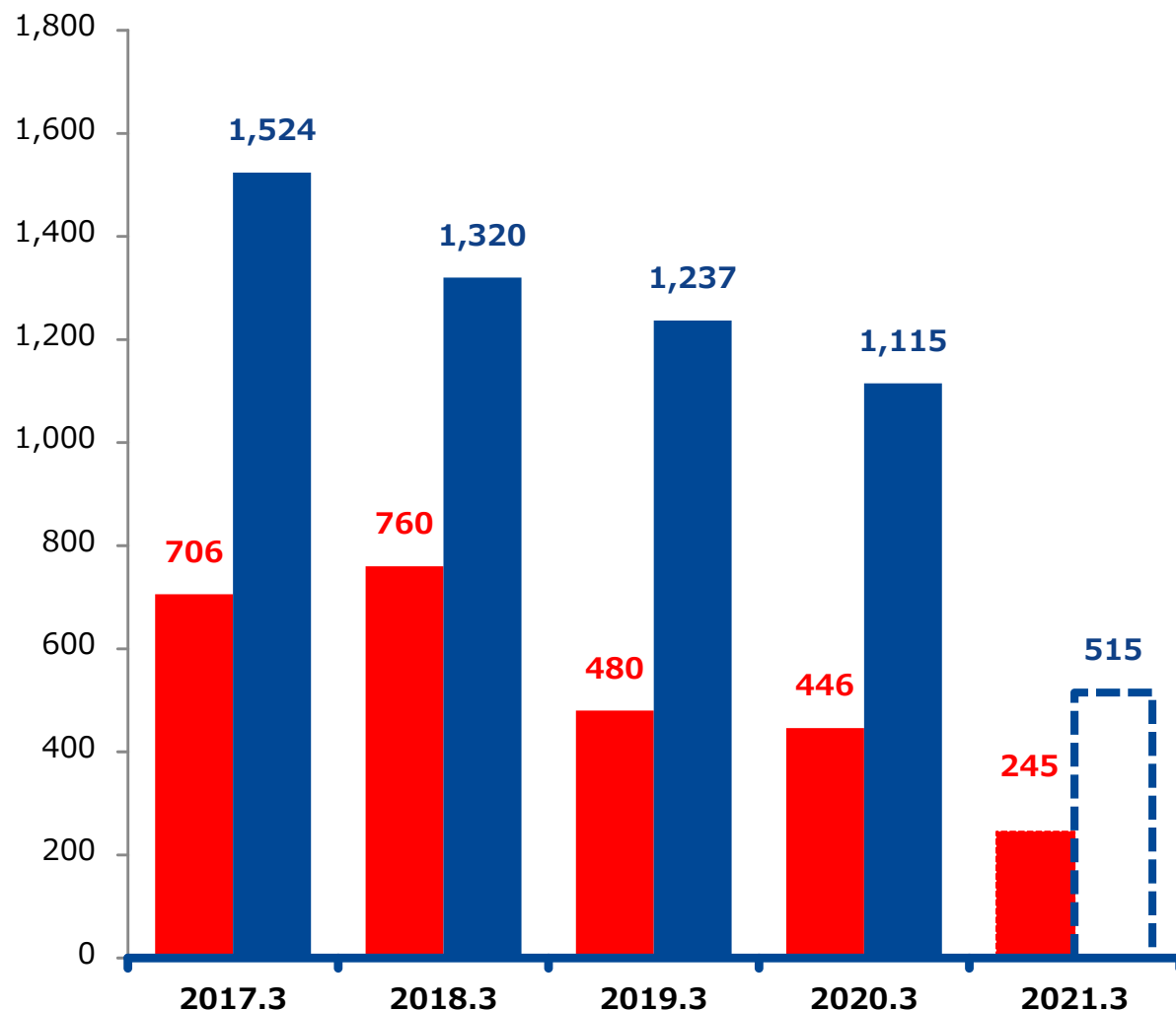
(前年同期比7.9%減)

- ✓ 粗利益率21.8% (前年同期19.4%)
- ✓ レーザー本体販売により粗利益への影響は少

営業利益

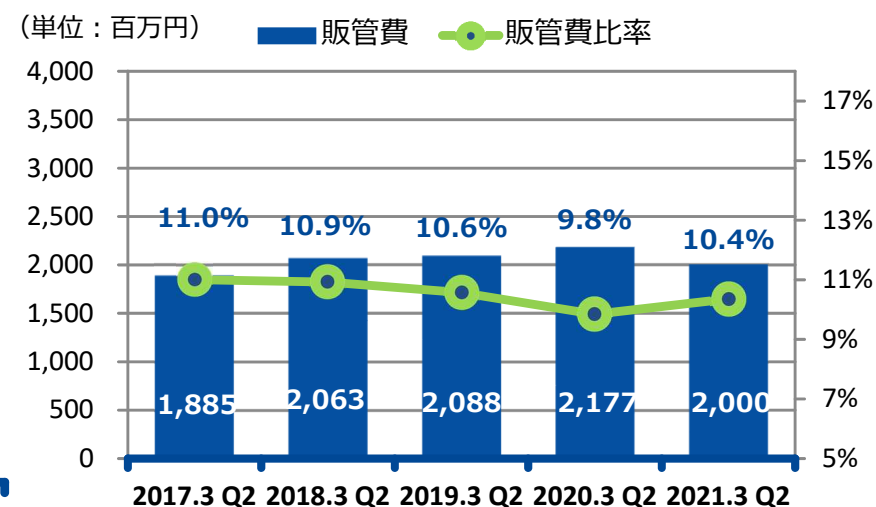
(単位：百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



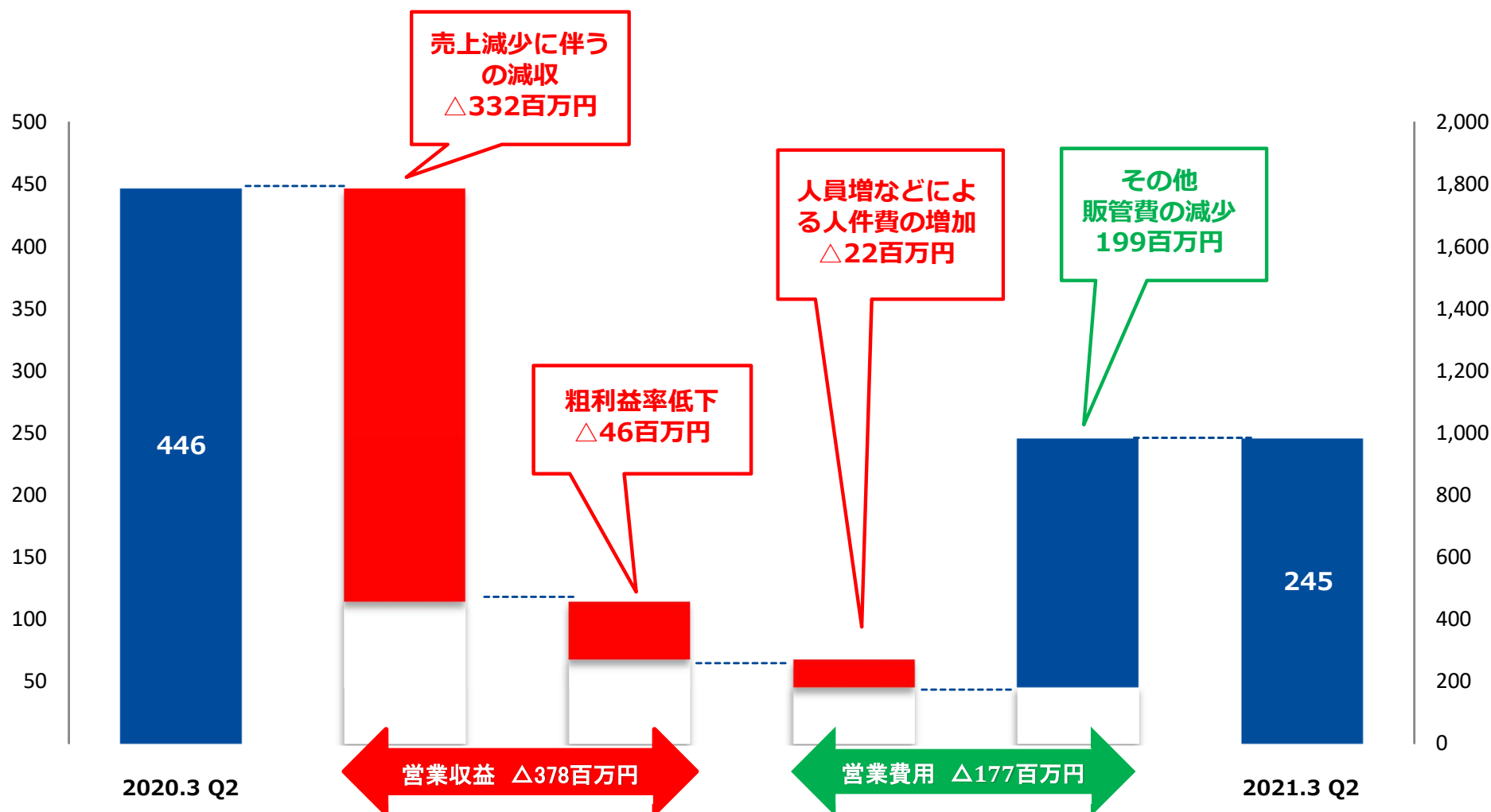
前年同期比**45.1%減**の
2.4億円

- ✓ 売上総利益が378百万円減少
- ✓ 販管費が営業活動の自粛による旅費交通費の減少などにより177百万円減少
- ✓ 売上高販管費比率は前年同期比0.6ポイント悪化

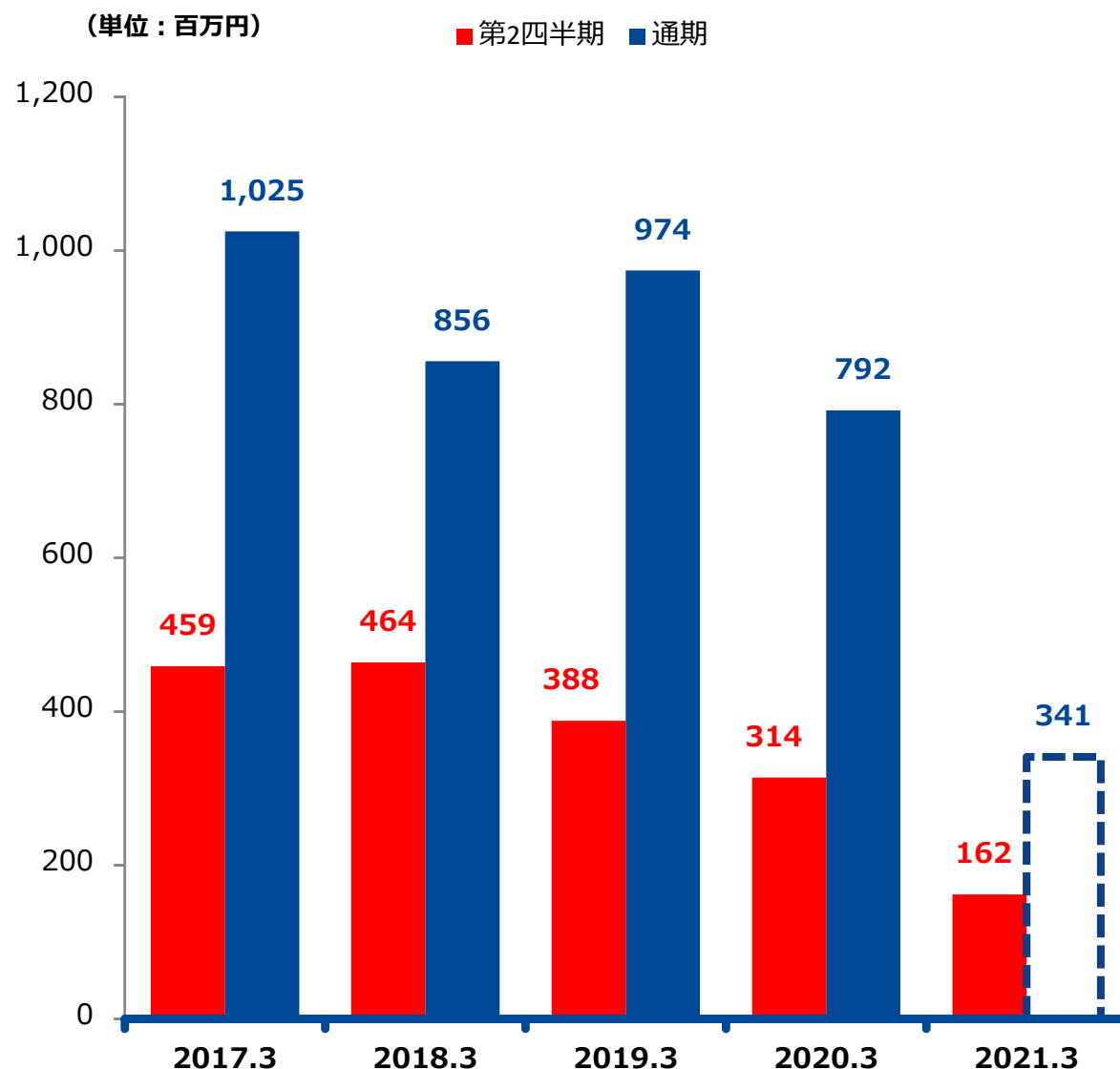


営業利益増減分析

新型コロナの感染拡大に伴う症例数減少などの影響により、**前年同期比減収、減益。**



四半期純利益



前年同期比**48.1%減**の
1.6億円

- ✓ 営業外収益：受取保険金7百万円の減少
- ✓ 営業外収益：為替差益1百万円の減少
- ✓ 営業外費用：為替差損2百万円の増加
- ✓ 営業外費用：貸倒引当金繰入額2百万円の減少
- ✓ 税金費用：法人税等59百万円の減少

要約貸借対照表 (第2四半期末)

	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	18,622	92.7	18,831	△1.1	● 現預金の増加 (865百万円) ● 受取手形及び売掛金の減少 (△711百万円) ● 商品の減少 (△306百万円)
固定資産	1,473	7.3	1,535	△4.0	● 営業用資産 (デモ・レンタル機) などの取得による増加 (14百万円) ● 差入保証金の減少 (△51百万円)
資産合計	20,095	100.0	20,367	△1.3	
流動負債	12,148	60.4	12,373	△1.8	● 買掛金の減少 (△144百万円) ● 1年内返済予定の長期借入金の減少 (△20百万円)
固定負債	438	2.2	426	+2.8	● 退職給付引当金の増加 (21百万円)
負債合計	12,586	62.6	12,800	△1.7	
純資産	7,508	37.4	7,566	△0.8	● 四半期純利益 (162百万円) ● 剰余金の配当による減少 (△246百万円)
負債純資産合計	20,095	100.0	20,367	△1.3	

要約キャッシュ・フロー（第2四半期累計期間）

ディービーエックス株式会社

	当期 (百万円)	前期 (百万円)	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,231	684	● 税引前四半期純利益（243百万円） ● 売上債権の減少（645百万円） ● たな卸資産の減少（260百万円） ● 仕入債務の減少（△144百万円） ● 法人税等の支払額（△77百万円）
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97	△164	● 有形固定資産の取得による支出（△154百万円）
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	△719	● 配当金の支払（△244百万円）
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	865	△202	
現金及び現金同等物の期首残高	5,232	5,298	
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,098	5,095	

2. 業績予想

新型コロナウイルスの影響

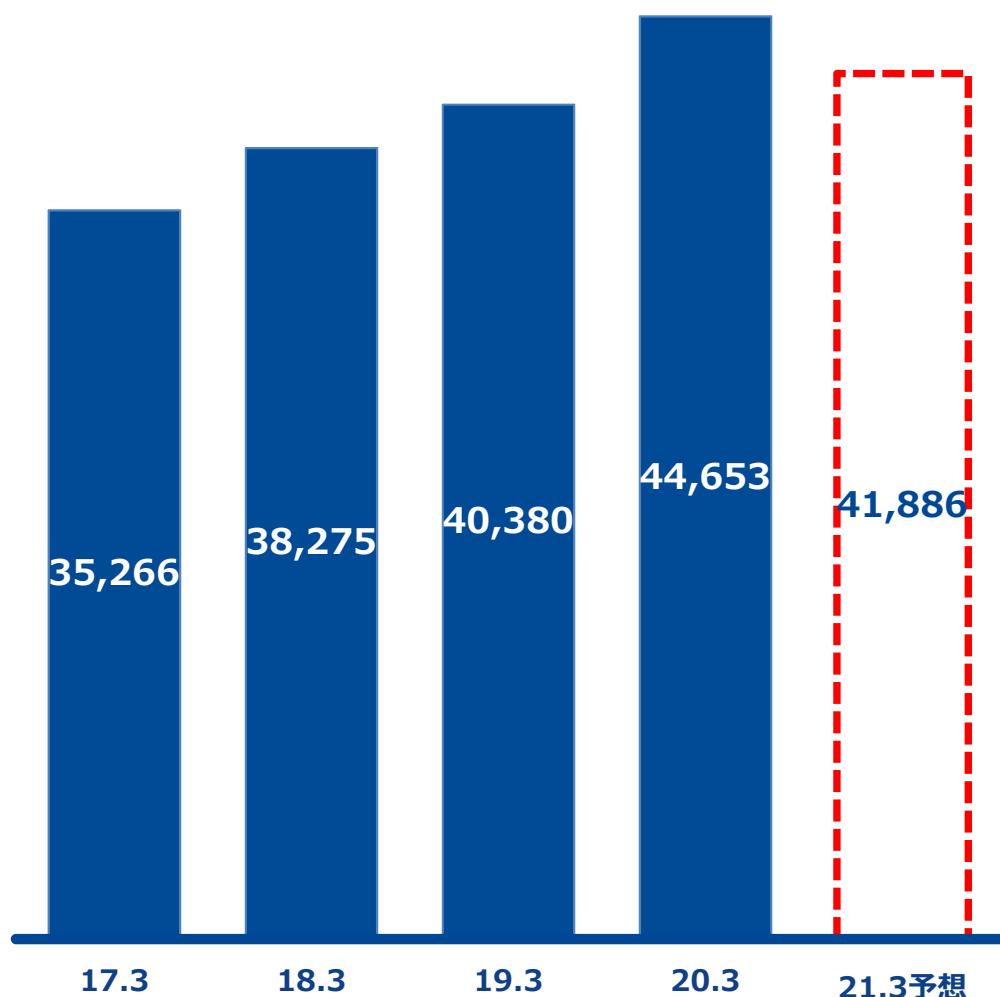
依然として新型コロナウイルスの影響は収束しておりませんが、当社業績への影響は2020年6月以降収束に向かい、2020年9月まで影響が継続、第3四半期以降は一定範囲の影響に収まる想定に変更なし。

2020年7月に当社従業員に感染者が1名発生しましたが、それによる営業所の閉鎖には至っておりません。

引き続き感染リスクを軽減するためのあらゆる対策を講じ、医療の安全、安心のために安定して商品を生産し続けることを使命とし企業活動を行ってまいります。

通期業績予想（売上高）

（単位：百万円）



予想売上高 418.8億円

（前期比6.2%減）

✓第2四半期の症例数減少による減収分については、医療提供体制確保のための病床確保が引き続き行われることなどから、第3四半期以降での挽回は難しいと想定

※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波や再びの緊急事態宣言の事態については想定・反映しておりません

通期業績予想（営業利益）

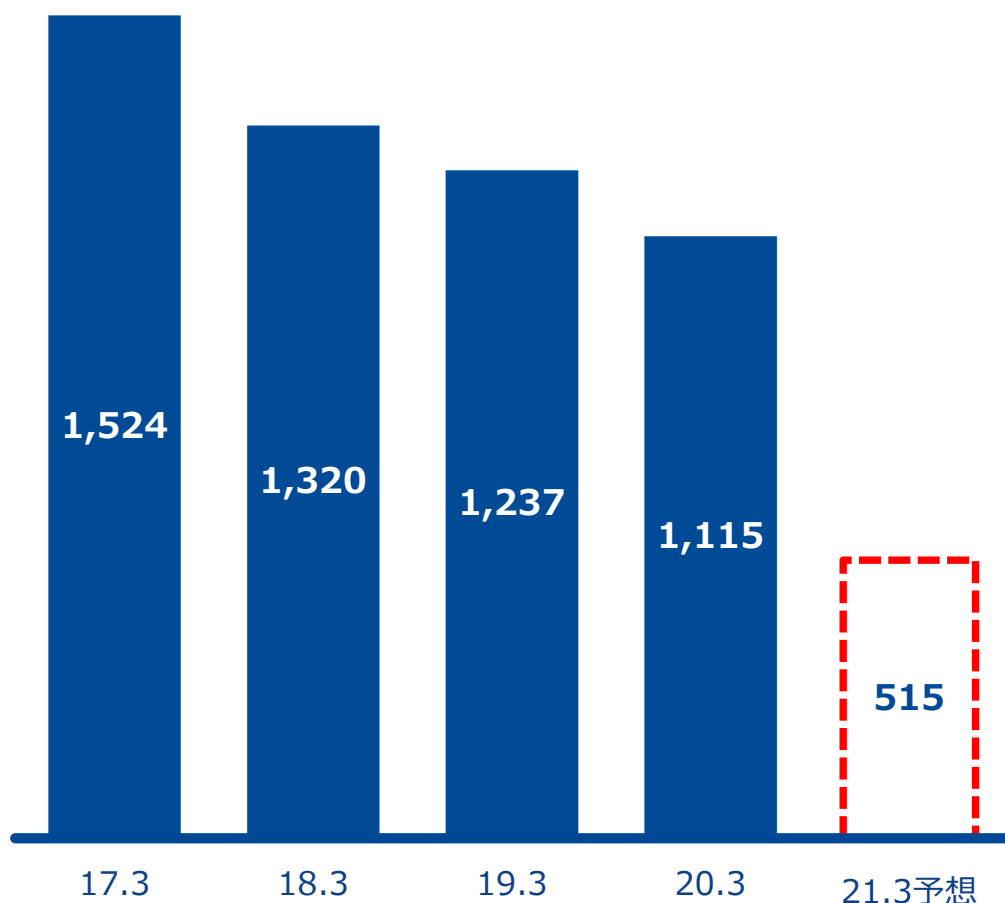
（単位：百万円）

予想営業利益 5.1億円

（前期比53.8%減）

✓経費節減努力や移動制限による旅費交通費の減少など販管費の減少を見込むが、売上減少による粗利益の減少分をカバーできず

※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波や再びの緊急事態宣言の事態については想定・反映しておりません



通期業績予想（当期純利益）

（単位：百万円）

予想当期純利益3.4億円

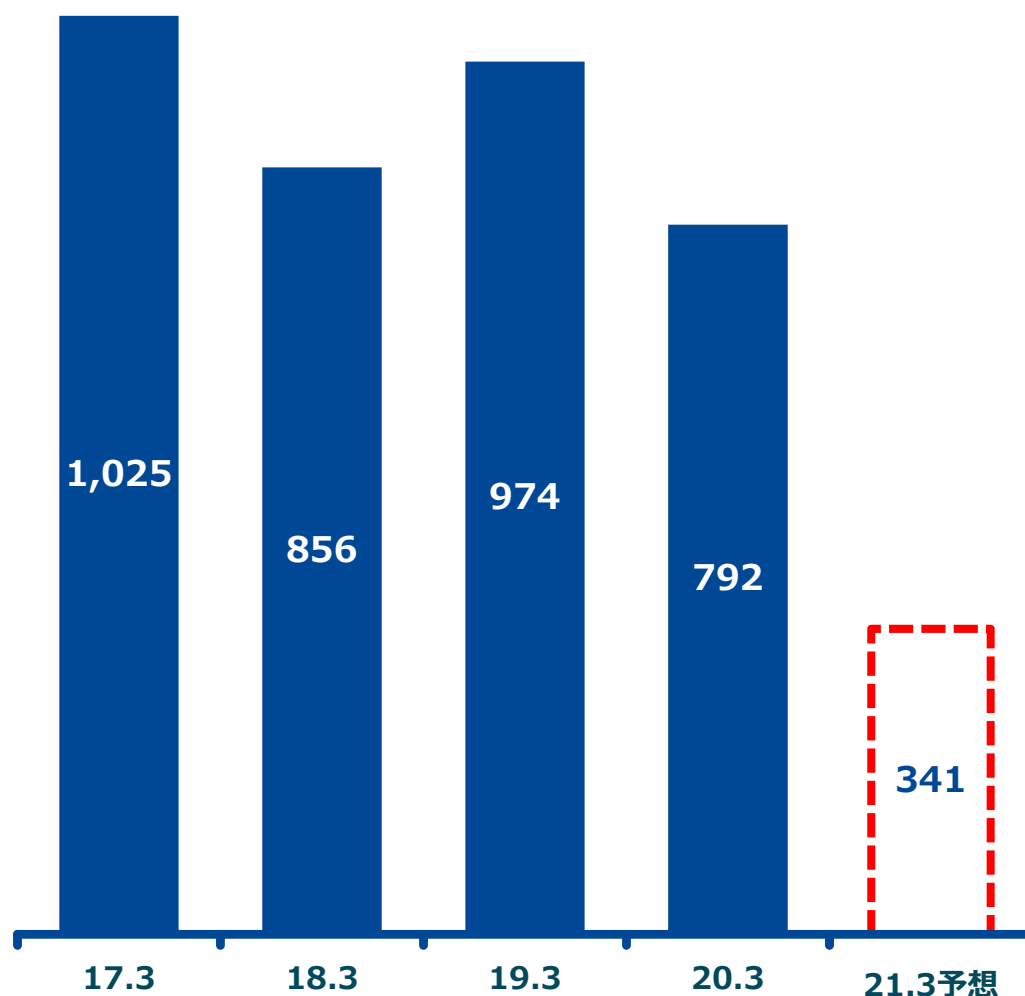
（前期比56.9%減）

予想EPS 33.16円

（前期実績75.56円）

- ✓ 営業利益600百万円の減少
- ✓ 営業外収益9百万円の減少
- ✓ 特別損失23百万円の減少
- ✓ 税金費用136百万円の減少

※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波や再びの緊急事態宣言の事態については想定・反映しておりません



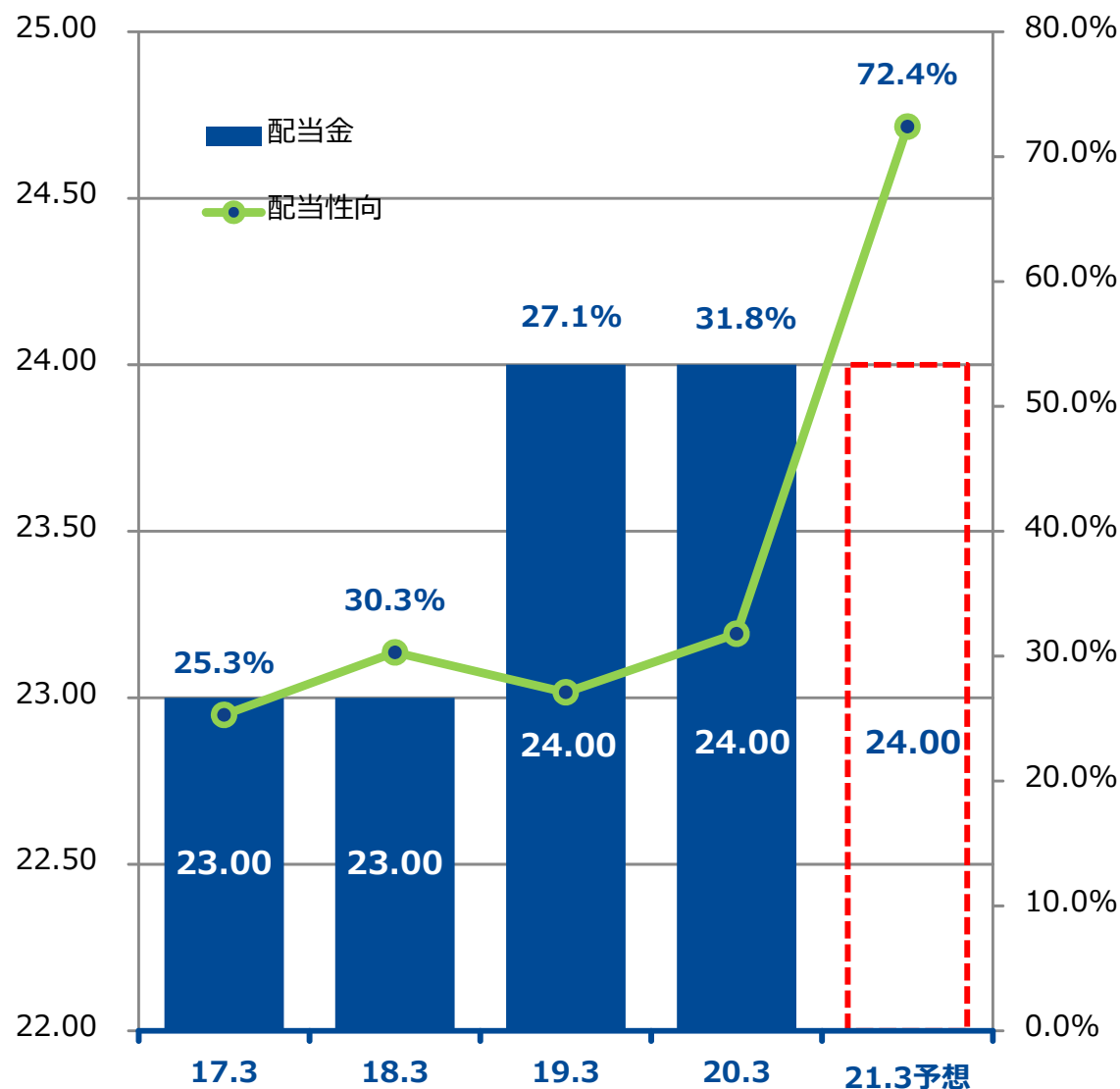
2021年3月期（進捗率）

（単位：百万円）

	通期 (計画)	当第2四半期 累計 (実績)	進捗率 (通期)
売上高	41,886	19,310	46.1%
営業利益	515	245	47.6%
経常利益	514	244	47.5%
当期純利益	341	162	47.7%

2021年3月期 配当金予想

(単位：円)



予想期末配当 24円
(予想配当性向 72.4%)

継続的かつ安定的な配当
による株主還元を行うこ
とを基本として配当を決
定する方針を継続

RAQUOS（ラクオス）

2020年10月1日に、以前より開発を行ってまいりました「RAQUOS（ラクオス）インジェクションシステム」の日本国内における薬事認証を取得いたしました。

本システムは、国内の医療現場のニーズを取り入れて、心臓血管インターベーション治療など血管造影を行う際の造影剤注入を目的としており、X線診断の環境下における血管造影の際の操作性の向上と少量から大量まで正確な造影剤注入を実現することが出来るもので、国内企業と協力して開発した日本製の造影剤自動注入装置になります。

今回取得した認証につきましてはインジェクションシステム本体のみであるため、現時点で本体のみの販売は行いません。

当社は引き続き、関連消耗品の認証取得および本システムの販売に向けた取り組みを継続するとともに、今後も「人にやさしい医療」の実践のため、医療業界のニーズに対し、創造的ソリューションを提供することで社会に貢献して参ります。



 Development
Venture
X (無限の可能性)

■ I R についてのお問い合わせ先 財務経理部



TEL : 03-5985-6832 FAX : 03-5985-6106 U R L <http://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。